

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年7月16日 No.65

各地で学習会 2008年世界大会必ず成功へ

佐藤光雄世界大会運営委員会代表が訴えー広島

世界大会実行委員会の佐藤光雄運営委員代表は7月9日から13日まで、広島県内各地の学習会で講演、世界大会成功へ取り組み強化を呼びかけました。

9日は呉市原水協の「6・9行動」に参加、続いてビューポート呉で学習会。約30人が参加しました。10日には広島市内で16の団体を訪問、運動を激励しました。11日は福山市内の10団体を訪問、夜には団体代表7人が参加した学習会で核兵器廃絶の世界の世論の流れについて訴えました。12日、三原市原水協総会(13人)、平和行進など大会成功への取り組みについて意思統一しました。夜に尾道市で行われた学習会には45人が参加、音楽や朗読もあり、核兵器廃絶をめぐる世界の情勢の訴えに共感が寄せられました。13日は、安芸高田市で学習会には16人、地元の被団協会長ら幅広い参加がみられました。夜は広島市佐伯区原水協が開いた学習会に14人が参加し、平和行進の準備やカンパ活動など具体的な行動が提起されました。

佐藤運営代表は「これまでにくらべ今年の方が全体として勢いがある」と語っています。

「ピース・エクスプレス」が20人目標でバスツアーを計画 - 山梨

山梨から平和な世界へ向かって、特急で進んでいこう! という意味が込められた「ピース・エクスプレス～山梨から世界へ～」(略称:PX)は、20人のバスツアーを計画しています。

「つどい」に向けた運動として、国民平和大行進の山梨初日の7月9日に、木下実行委員長と宮内事務局長がPXの取り組みを伝えながらカンパを訴え、2万3907円が集まりました。現在のカンパ合計は16万円を超えていますが、目標額である50万円に向けてより多くの人に協力を呼びかけようと張り切っています。

「21万羽おりづるプロジェクト」をうけて2100羽の目標を決め、7月12日にはPX参加呼びかけと併せて、甲府駅前折鶴宣伝を行いました。「私たちも6日に広島に行くんです!」と2人の青年と鶴を折りながらの対話ことができました。

15日には、昼休みの1時間、都留大学で折鶴宣伝に取り組み、約30人から鶴が寄せられました。参加者からは「やる前はやはり緊張があったけど、やってみるととにかく楽しかった!」「大学内で、友だち・顔見知りが多くいたことでたくさん声をかけられたし、知らない人でも、『広島に持って行くんですよー!』と声をかけると多くの方が快く足を止めてくれた」などの感想が出されました。

7月26日には講演や前回の世界大会のスライドを見て交流する事前交流会を予定しています。



<お詫びと訂正>

昨日再発送した「代表章バッジ・チケット事前発送受付表(動く分科会等)」に誤りがありました。分科会R「分科会8～」は「分科会14 岩国基地調査行動」の誤りです。お詫びして訂正いたします。7月3日発送分が正しいです。